

SAKU らいぶ 52号

図書館だより



平成26年8月号

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

[内容]

- ・読書する意味
- ・SAKUらeselect
- ・らいぶニュース
- ・NewFace 登場
- ・季を愛でる
- ・らいぶ Question
- ・図書館開館カレンダー

読書する意味

作新学院大学経営学部 教授 天尾 久夫

私は幼少の頃、月に一度、小さなマイクロバスの移動図書館が自宅近くに現れ、それを楽しみにしていた。『ドリトル先生航海記』、『80日間世界一周』、『巖窟王』、『シャーロックホームズの冒険』。幼い頃、本を読んで楽しかったことは一生忘れない「おもひで」になることを皆さん同意してくださるだろう。

さて、本を読むことは追体験の一種と説明されるが、それは本を読む行為が、読者を本の中の主人公にして、物語を追体験させるからである。良い本というのは、文章が自然で、読み手が意識せずとも、「追体験」の状態に入ることが容易ということかもしれない。

私が本学の学生に望むこと、それは、読むことなしに嫌いにならず、さまざまな分野の本を読んで欲しい。その一言に尽きる。

富士山からも想像できるであろうが、高い山は裾野が広い。若い時代に、広い裾野を作り上げることに読書は最適であり、幅広く本を読むという行為は心の裾野を広げる作業ではなかろうか。

内容やあらすじを覚えるような読み方はお勧めしたくない。「読書」は、読後に自分の中に何が印象として残ったか、それだけで良いのではと思う。腹の底というべきか、読書の後、心に沈澱して残る「何か」を内省してみることが、「読書」の面白さではないかと振り返るこの頃である。



SAKUらセレクト

～本学図書館にある珠玉の1冊を紹介します～

ニュートン別冊 「検証 福島原発 1000 日ドキュメント」 543.5/Ke

2011年3月11日に発生した東日本大震災により福島第一原子力発電所は大事故を起こしました。本書は地震発生から電源喪失、原子炉建屋爆発、そして事故処理までの経緯を克明に記録したものです。

美しいとも言えそうな精密なイラストレーションに目を奪われます。まるでSF映画のパンフレットを見ているようです。しかし、福島原発が崩壊する様子を時間を追って事細かに説明していて、これが現実だと思い知らされます。これでもかというくらい丁寧な解説に背筋が寒くなる思いです。

2051年に廃炉完了が予定されている福島第一原発。長く険しい道のりはまだ始まったばかりです。

日本に暮らすということは、地震とともに生きることを覚悟しなければいけないのかもしれませんが。

ぜひ一度手に取って、この現実と向き合ってみてください。

らいぶニュース

6月から7月にかけて、清原中学校・益子特別支援学校・作新学院高校情報科学部の生徒が図書館でインターンシップを行いました。本の貸し出しや登録、本棚の整理、POPづくりなど、全般的に体験しました。

生徒からは、図書館の仕事は体力も使い、細やかな集中力も必要とされ、なかなか大変だったという感想が聞かれました。

将来職業を選択する折に、この体験が少しでも参考になれば嬉しいです。



清原中学校2年生が作った卓上POP

NewFace 登場

～新しく作大に配属になった職員からのメッセージです～

「絵本との再会」

教務課 青山弘子

私のおススメは、昔読んだ絵本や児童書を大人になった今、もう一度読むことです。大学時代、教育実習先の小学校で久しぶりに図書室に行った折、懐かしい本との再会は、子どもの頃とはまた違う楽しさを与えてくれました。

例えば、「ぐりとぐら」。野ネズミのぐりとぐらが森で見つけた大きなタマゴでカステラを作って、森中のみんなで食べました、という話。大人になって読むと、せっかく見つけた大きなタマゴを独り占めしようなんて考えず、当たり前のように皆で分け合って食べている、平和な世界に癒されます。

大人になると、忙しくて余裕がなくなってしまうがちですが、そんな時には少しだけ休憩して、絵本を開いてはいかがでしょうか。気軽に読めますし、心とみえます。子どもの頃とは違った新たな発見があるかもしれません。

「ぐりとぐら」 909/Gu なかがわりえこ 著 おおむらゆりこ 絵

季を愛でる

ソーダ水

図書課長 野中千秋

透き通る緑や青の水の中に泡が浮かんでは消えていくソーダ水。男女の間に置かれたら、涼しげでロマンチックな思いにもなる。反面「ソーダ水のなかを 貨物船が通る 小さな泡も恋のように消えていった」（荒井由実「海を見ていた午後」より）のように儂いものにもなる。さて皆さんのソーダ水は……。

ソーダ水泡のはじけて恋となる

美しき嘘と知りつつソーダ水

千秋



らいし Question



暮らしの防犯と防災 清永賢二 著 より

528.6/0n

21世紀は様々な意味で「危機」から始まった。特に犯罪や災害などの(①)には深刻なものがあり、安全・(②)な暮らしの確保が極めて重要な問題となって浮上している。人々はあらためて、日々の生活においていかに安全・安心が必要不可欠な(③)であるかを噛みしめている。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。

図書館開館カレンダー

7月

8月



お知らせ

7月18日金曜日～7月31日木曜日(土日を除く)は、開館時刻を18:45まで延長します。試験勉強やレポート作成にご利用ください。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

	9:00~18:00		9:00~18:45		休館日
	9:00~13:30		9:00~16:00		

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
 作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
 Tel 028-670-3651・3652  
 Fax 028-670-3619  
 E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)  
 URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

